

## 6 匝瑳市

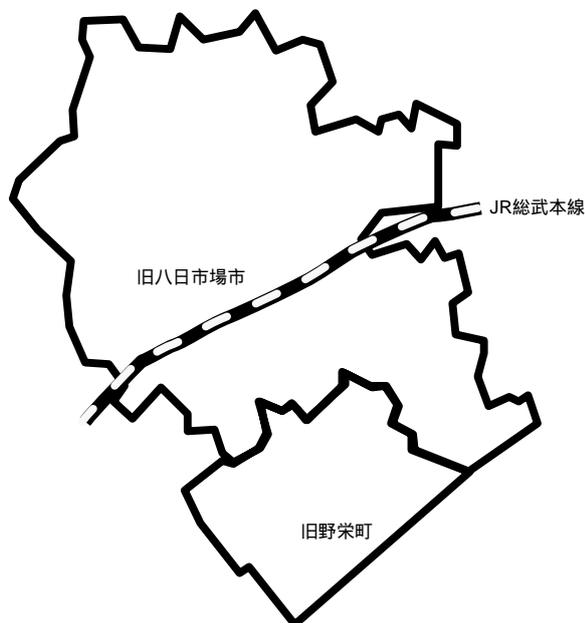
(八日市場市・匝瑳郡野栄町の合併)



市章

海の波と緑の葉を表すデザインで匝瑳市の「匝」の字と、いきいきした匝瑳市民を表し、匝瑳市がシンボライズされています。橙色は「活力」、緑色は「成長」、青色は「未来」を表しています。  
(匝瑳市ホームページより)

巻末差込の別紙にカラー版あり。



### (1) 概況

合併方式 新設方式(八日市場市、匝瑳郡野栄町を廃し、その区域をもって、匝瑳市を設置する)

合併期日 平成18年1月23日

事務所の位置 匝瑳市八日市場八793番地2

人口 42,026人(平成18年1月1日現在常住人口)

面積 101.78 km<sup>2</sup>

初代市長 江波戸辰夫

初代議長 及川新三郎

議員定数 24人

#### 位置・地勢等

平成18年1月23日、八日市場市と野栄町が合併して「匝瑳市」が誕生しました。

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、東京からは70km圏、成田国際空港からは車で30分の距離にあります。市の中心部をJR総武本線と国道126号が東西に走り、成田方面とは国道296号で結ばれています。

市の総面積は、101.78平方キロメートルで、みどり豊かな恵まれた自然と歴史のあるまちです。

市の北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地部となっており、里山の自然が多く

残されています。南部は、平坦地で市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、白砂青松の続く九十九里海岸に面しています。

気候は海洋性の温暖な気候で、年間平均気温は 15 度、東京周辺に比べると、夏涼しく冬暖かい、とても過ごしやすい土地柄です。冬でもほとんど降雪は見られません。( 匝瑳市ホームページより )

## ( 2 ) 合併の背景等

( 合併申請書添付書類「第 4 廃置分合を必要とした理由」より抜粋 )

### 第 4 廃置分合を必要とした理由

八日市場市は、昭和の大合併(昭和 29 年 3 月)で 1 町 9 か村が合併する前は現在の野栄町と同じ匝瑳郡に属していた経緯もあり、両市町は古くから生活・文化の面で地域としてのまとまりがあり、また、行政の面でも、消防、水道、ゴミ処理・火葬場、し尿処理等について一部事務組合を通じて共同処理しているなど、大変結びつきの強い地域になっている。今回、そうした両市町では、主に次の三点の理由から廃置分合を必要としたものである。

第一に、地方交付税の減額等による厳しい財政事情から、財政基盤を強化する必要があった。

( 中略 )

国では財政構造改革の下、平成 13 年度から地方交付税の抑制・削減を進め、平成 14 年 6 月 25 日に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」(いわゆる「骨太の方針第 2 弾」)では、従来の中央集権的な行財政システムを改め地方分権を一層推進するため、

国庫補助負担金の廃止・縮小、地方交付税の抑制・削減、そして税源移譲を三位一体で進める方針、いわゆる「三位一体の改革」が示された。その結果、ここ数年のこうした影響を受けて、両市町に交付される地方交付税の総額は、平成 16 年度には約 42 億 5 千万円(内訳：八日市場市 31 億 1 千万円、野栄町 11 億 4 千万円)にまで落ち込み、ピーク時の平成 11 年度の約 59 億 6 千万円(同：八日市場市 41 億 8 千万円、野栄市 17 億 8 千万円)と比べて、17 億 1 千万円の大幅な減額となった。

( 中略 )

これまで両市町では、地方交付税の減額等による財源不足について、赤字地方債(臨時財政対策債)の発行や財政調整基金の取崩し、そして行財政改革による経費の節減等によってこれを補填し、収支の均衡を図ってきた。

しかし、両市町では財源不足が常態化しており、ここに至って財政調整基金の蓄えも、ピーク時の平成 9 年度には約 27 億円(内訳：八日市場市 21 億 5 千万円、野栄町 5 億 5 千万円)あ

ったものが、来年度は約 5 億 2 千万円（同：八日市場市 3 億 8 千万円、野栄町 1 億 4 千万円）にまで落ち込む見通しで枯渇の危機にある。三位一体の改革が推進される中、決して豊かな税源があるとは言えない両市町にとって、今後も単独で自治体を運営して行くことは大変厳しい情勢にあり、廃置分合によって財政基盤を強化する必要があった。

第二に、今後の少子高齢化の進展に対応して、行財政基盤を強化する必要があった。

（中略）

同研究所（「国立社会保障・人口問題研究所」）が平成 15 年 12 月に公表した市区町村別の将来推計人口（平成 12（2000）～平成 42（2030）年）によると、八日市場市の人口（現在 3 万 3 千人）は、平成 27 年には 3 万人を切ると推計されているほか、両市町の総人口（現在 4 万 2 千人）も平成 42 年には 3 万 5 千人にまで減少する一方で、65 歳以上の老年人口（現在 1 万人）は逆に今より約 2 千人増えて、高齢化率（現在 24.1%）は 33.4%に上昇すると推計されている。

少子高齢化の進展は、これを自治体の財政への影響という観点から評価すると、「少子化」による人口の減少は税収の減であり、「高齢化」による高齢者人口の増加は、社会保障負担の増大になる。

少子高齢化が今後確実に進展していく中、このままでは高齢化に対応する老人医療、国民健康保険、介護保険などの社会福祉サービスの維持が難しく、廃置分合によって行財政基盤を強化する必要があった。

そして最後に、第三に、実行の段階に入った地方分権の成果を上げるために市町村の自立が求められており、行財政運営の効率化を一層推進する必要があった。

平成 12 年 4 月に「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」（いわゆる「地方分権一括法」）が施行され、実行の段階に入った地方分権の成果を上げるために、市町村は住民に最も身近な自治体として自立した行財政運営が求められている。

これまで両市町では、八日市場市にあっては「第 3 次行政改革大綱」（平成 12～16 年度）、「財政健全化プログラム」（平成 13～15 年度）及び「財政健全化プログラム」（平成 16 年度版）、野栄町にあっては「新行政改革大綱（改訂版）」（平成 12～16 年度）に沿って、間断なく事務事業や組織・機構の見直し、定員管理及び給与の適正化等を推進してきた。

しかしながら、地方交付税が大幅に削減され、景気の低迷で税収の伸びも期待できない中で、高齢化等に伴う諸経費の増大や地方債の累増に伴う起債残高の増大等により歳入歳出構造はますます硬直化してきており、行財政システムについての思い切った見直しがなければ安定的な財政運営の維持は難しく、今後の増大化・多様化する行政需要、新しい行政需要に対しては応えられない可能性が強い。

このため、地方分権の担い手にふさわしい行財政基盤を有する基礎的自治体を形成するとともに、行財政運営の効率化を一層推進するために廃置分合を必要とした。

( 後略 )

( 3 ) 合併の経緯等

平成 15 年

4 月 1 日 八日市場市・光町・野栄町合併協議会設置

平成 16 年

3 月 12 日 光町長が合併協議会からの離脱を表明

4 月 30 日 八日市場市・光町・野栄町合併協議会廃止

5 月 10 日 野栄町が地区別懇談会開催 ( 町内 8 ヶ所 )

~ 17 日

7 月 5 日 八日市場市、野栄町の首長、議長が合併について協議し、合併を推進すること  
とで一致

7 月 30 日 八日市場市議会、野栄町議会において、八日市場市・野栄町合併協議会設置  
議案の議決

8 月 1 日 八日市場市・野栄町合併協議会設置

8 月 4 日 八日市場市、野栄町が県に合併重点支援地域の指定を要請

8 月 9 日 県が八日市場市、野栄町を合併重点支援地域に指定

9 月 8 日 新市名アンケート調査実施

~ 23 日

9 月 30 日 第 2 回合併協議会

・合併の方式を承認

・合併の期日を承認

・新市の事務所の位置を承認

10 月 29 日 第 4 回合併協議会

・新市の名称を承認

平成 17 年

1 月 31 日 第 8 回合併協議会

・新市建設計画を承認

2 月 1 日 住民説明会開催 ( 両市町の 15 ヶ所 )

~ 13 日

2 月 17 日 八日市場市臨時議会において、住民投票条例案が賛成少数で否決

3 月 5 日 合併協定書調印 ( 八日市場市民ふれあいセンター )

3 月 23 日 八日市場市議会、野栄町議会において、合併議案の議決

3月25日 八日市場市長、野栄町長が県知事に合併申請書を提出  
4月6日 県議会において、八日市場市、野栄町の合併議案の議決  
4月12日 八日市場市、野栄町の合併を県知事が決定、県知事から総務大臣に届出  
5月13日 総務大臣による合併の告示  
平成18年  
1月23日 合併

#### (4) 合併の特徴

##### 庁舎の位置

八日市場市役所（野栄町役場は支所）

##### 議会議員の取扱い

在任特例適用（期間：平成18年10月31日まで。定数38人）

期間終了後の定数及び選挙区：24人。選挙区は設けない。

##### 農業委員会の取扱い

在任特例適用（期間：平成18年7月19日まで。定数35人）

期間終了後の定数及び選挙区：20人。選挙区を設ける（2選挙区）。

##### 地方税の取扱い

両市町で差異のあるものは、次のとおりとする。

- ・個人市民税、固定資産税の納期：八日市場市の例による
- ・法人市民税の税率：八日市場市の例による
- ・入湯税：野栄町の例による

##### 地域自治組織

設置しない。

##### 合併後の住居表示

- ・八日市場市 匝瑳市
- ・八日市場市「イの」、「口の」、「八の」、「二の」、「ホの」  
「八日市場イ」、「八日市場口」、「八日市場八」、「八日市場二」、「八日市場ホ」
- ・匝瑳郡野栄町 匝瑳市

#### (5) 合併関係市町村の概況

##### 八日市場市

人口 32,021人（平成18年1月1日現在常住人口）

面積	80.75 k m <sup>2</sup>
沿革	昭和 29 年 3 月 31 日合体 八日市場町、豊栄村、須賀村、匝瑳村、 豊和村吉田村、飯高村、共興村、平和村、椿海村（八日市場町） 昭和 29 年 7 月 1 日市制施行
市長	江波戸辰夫（合併時）
議長	行木勲（合併時）
議員定数	22 人（合併時）
職員数	434 人 うち一般行政職 189 人（平成 17 年 4 月 1 日）
財政規模	普通会計歳出合計 10,239,136 千円（平成 16 年度決算）

#### 野栄町

人口	10,005 人（平成 18 年 1 月 1 日現在常住人口）
面積	21.03 k m <sup>2</sup>
沿革	昭和 29 年 7 月 17 日合体 栄村、野田村
町長	伊藤正勝（合併時）
議長	及川重良（合併時）
議員定数	16 人（合併時）
職員数	114 人 うち一般行政職 75 人（平成 17 年 4 月 1 日）
財政規模	普通会計歳出合計 3,597,280 千円（平成 16 年度決算）



旧八日市場市役所（現匝瑳市役所）



旧野栄町役場（現野栄総合支所）